

7. 放射線業務従事者の男女別線量 [令和元年度]

性別 線量 (mSv)	放射線業務従事者数			集団線量 上段: 人・mSv 下段: (%)
	男子	女子	合計人数 上段: 人数 下段: (%)	
1以下	55,924 (89.1)	898 (99.2)	56,822 (89.3)	3,508.6 (9.7)
1を超え2.5以下	3,032 (4.8)	7 (0.8)	3,039 (4.8)	4,944.5 (13.7)
2.5を超え5以下	1,650 (2.6)	0 (0.0)	1,650 (2.6)	5,908.0 (16.3)
5を超え7.5以下	702 (1.1)	0 (0.0)	702 (1.1)	4,319.7 (11.9)
7.5を超え10以下	461 (0.7)	0 (0.0)	461 (0.7)	4,010.9 (11.1)
10を超え15以下	632 (1.0)	0 (0.0)	632 (1.0)	7,845.1 (21.7)
15を超え20以下	332 (0.5)	0 (0.0)	332 (0.5)	5,637.7 (15.6)
20を超え25以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
25を超え30以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
30を超え40以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
40を超え50以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
50を超える	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
合計人数 (%)	62,733 (100.0)	905 (100.0)	63,638 (100.0)	—
男女の割合 (%)	98.6	1.4	100.0	—
集団線量 (人・mSv)	36,153.0	21.4	—	36,174.5 (100.0)
平均線量 (mSv)	0.6	0.0	0.6	—
最大線量 (mSv)	19.6	2.0	19.6	—

[表の見方]

- 例えば、表における線量1mSvを超え2.5mSv以下の男子「3,032」という値は、令和元年度1年間に放射線業務を行った男子で、その線量が1mSvを超え2.5mSv以下であった者が3,032人であったことを示します。
- 「集団線量」については、縦計と横計のそれぞれについて少数点以下第2位を四捨五入して集計しています。集団線量の縦計と横計が一致しないのは、四捨五入による集計上の取扱いによるものです。